

## 在住外国人交流事業『ゆかたを着よう』開催



7月21日(日)生涯学習センター和室にて、『ゆかたを着よう』が開催されました。この事業は、MIRA在住外国人交流委員会が“自分でゆかたを着てみよう”をテーマに初めて企画したもので、16名の方の参加がありました。小林豊子きもの学院の先生方のご協力をいただき、全員自分で着付けに挑戦しました。帯の回し方と体の回り方の違いに戸惑うなど、笑顔あふれる中で着付けが進みました。フランスからお越しの親子や、日大生、順天堂大学生の参加もあり、楽しく交流をしながらの着付け体験となりました。



せっかくきれいに着ることができたので、近隣の白滝公園に出向き、湧水が湧き出て木漏れ陽あふれる公園の中で、参加者どうして写真撮影をするなど盛り上がりしました。

外国からの参加者からは「難しかったが、楽しく良い体験ができた」と喜ばれました。三嶋大祭りでもゆかたを着てみたいという参加者もいるなど、日本の夏の文化を全員で満喫する楽しい1日となりました。

## James Molloy - MIRA Newsletter #40

### JIMのみしまものがたり④

#### 夏の言葉

「夏」を一言か二言で表現するとしたら、みなさんはどんな言葉を思い浮かべますか？  
きっと「暑い」とか「じめじめする」といった、少しだけネガティブな言葉が出てくるかもしれません。

最近では昼間の暑さを避け、日が沈んだ後に散歩をすることがよくあります。歩きながら、この絶え間ない暑さを少しだけ楽に、或いは詩的にさえ変えられる言葉はないだろうかと考えました。私の脳裏に浮かんできた言葉は、Intensity (激しさ) & Serenity (静けさ) です。

この季節には夏の日差しでの激しさに加えて、私たちの心に根付く静かな強さがあります。そう、夏の私たちのまちには、しゃぎりの激しさが通りを駆け巡り、そのリズムの中には静けさと馴染みのある心地よさが宿っています。

三嶋大社の緑色が濃い木々の下に立ち、上から照らす太陽の光に包まれると、蝉の大合唱が私の心を落ち着かせ、夏が目に見える形で現れる様子に魅了されます。

また、浴衣をまとった人びとが団扇を手に楽しげに歩いているのを横目に、激しく揺れる山車の上の人びとが奏でるリズムを聴くと、また一つの激しい夏が終わることをしみじみと味わうのです。

私が子供の頃に過ごしたニューファンドランドの静かな夏と比べると、ここでの夏の美しさは全く対照的だと感じます。三島の夏は、季節そのものと同じくらい激しい思い出を私に残してくれるのです。

激しさと静けさの季節の後には、鮮やかで美しい秋ですね。

続きは次号でお伝えします。

Always keep a little piece of summer tucked away for a rainy day.

せかいをつなぐ  
心をつなぐ  
三島市国際交流協会

#### 申込み・問合せ

- ★ 三島市国際交流協会 (MIRA) 事務局  
TEL 976-1020 FAX 976-1021
- ★ 三島市国際交流室  
TEL 983-2645  
三島市中央町5-5三島市役所中央町別館



▲ホームページ